

平成 26 年度 事業報告書

平成 26 年度の亀山市社会福祉協議会は、住民の参加・協働による市民参画型の福祉社会の実現を理念に、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

<重点項目>

- 1 組織運営及び職員育成の強化
- 2 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の推進
- 3 小地域ネットワーク活動の推進
- 4 ボランティア活動の推進
- 5 介護保険サービス・障害福祉サービスの充実
- 6 社会福祉センターの設備改修

<事業実施項目>

- 1 法人運営事業
- 2 地域福祉事業
- 3 在宅福祉サービス事業
- 4 社会福祉センターの運営
- 5 その他

1 法人運営事業

1 会務の運営

①理事会（5回）

第 1 回 平成 26 年 5 月 28 日（水） 出席者 12 名

議 題

議案第 1 号 平成 25 年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業報告並びに収支決算について

議案第 2 号 評議員の辞任に伴う後任の選任について

議案第 3 号 心配ごと相談所相談員の選任について

議案第 4 号 平成 26 年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（一次）補正予算について

議案第 5 号 平成 26 年度共同募金配分金の助成について

報告第 1 号 市町社会福祉協議会第三者評価事業の評価結果について

第2回 平成26年10月10日（金） 出席者11名

議 題

議案第1号 平成25年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会監事選任規程の一部改正について

議案第2号 評議員の選任について

議案第3号 平成26年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（二次）補正予算について

第3回 平成26年11月1日（土） 出席者10名

議 題

議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会会長及び副会長の選任について

報告第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会会長職務代理者及び常務理事の指名について

第4回 平成27年2月17日（火） 出席者12名

議 題

議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員就業規程の一部改正について

議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

議案第4号 平成26年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（三次）補正予算について

議案第5号 平成27年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業計画及び収支予算について

第5回 平成27年3月18日（水）【書面決議】

議 題

議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について

議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業利用料助成規程の廃止及び社会福祉法人亀山市社会福祉協議会日常生活自立支援事業利用料助成規程の制定について

②監事会（2回）

第1回 平成26年5月16日（金） 出席者2名

議 題

1) 平成25年度事業報告並びに収支決算の監査について

第2回 平成26年10月28日（火） 出席者2名

議 題

1) 平成26年度会計中間監査について（4月1日～9月30日）

③評議員会（3回）

第1回 平成26年5月7日（水）【書面決議】

議 題

議案第1号 理事及び監事の辞任に伴う後任の選任について

第2回 平成26年5月29日（木） 出席者21名

議 題

議案第1号 平成25年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業報告並びに収支決算について

議案第2号 平成26年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（一次）補正予算について

報告第1号 市町社会福祉協議会第三者評価事業の評価結果について

第3回 平成26年10月22日（水） 出席者18名

議 題

議案第1号 平成25年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会監事選任規程の一部改正について

議案第2号 理事及び監事の選任について

議案第3号 平成26年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（二次）補正予算について

第4回 平成27年3月27日（金） 出席者21名

議 題

議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員就業規程の一部改正について

議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

議案第4号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について

議案第5号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業利用料助成規程の廃止及び社会福祉法人亀山市社会福祉協議会日常生活自立支援事業利用料助成規程の制定について

議案第6号 平成26年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（三次）補正予算について

議案第7号 平成27年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業計画及び収支予算について

④正副会長会（三役会）

第1回 平成26年5月22日（木）

議 題

- ①社協理事会・評議員会提出議案等について

第2回 平成26年10月6日（月）

議 題

- ①社協理事会・評議員会提出議案等について

第3回 平成27年2月5日（木）

議 題

- ①社協理事会・評議員会提出議案等について

⑤理事、監事、評議員等先進地視察研修会の開催

本会の社会福祉事業の推進を図るため、他の福祉活動の先進事例について、研修を実施いたしました。

実施日 平成27年3月6日（金）

視察先 滋賀県 高島市社会福祉協議会

内 容 「高島市社協の事業概要及びたかしま流見守りネットワーク活動について」

参加者 理事9名 監事2名 評議員13名 職員等5名 計29名

⑥幹部会議（会長・事務局長・所長・係長）

第1回 平成26年4月24日（木）

議 題

- ①各係の目標について

第2回 平成26年6月25日（水）

議 題

- ①災害時職員行動マニュアルの見直しについて
②放課後等デイサービスについて

第3回 平成26年7月30日（水）

議 題

- ①生活困窮者自立支援制度について

第4回 平成26年8月27日（水）

議 題

- ①各係からの提出課題について

第5回 平成26年9月22日(月)

議 題

- ①各係からの事業報告について

第6回 平成26年11月25日(火)

議 題

- ①平成27年度予算(案)について

第7回 平成27年1月5日(月)

議 題

- ①平成27年度に向けての取り組みについて

第8回 平成27年3月18日(水)

議 題

- ①生活困窮者自立支援事業について

2 基盤の強化

①会員制度の啓発及び推進

(単位：名、円)

実施期間	普通会員	特別会員	26年度 実績額	25年度 実績額	増減額
7月	10,334	5	3,424,300	3,452,500	△28,200

3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

①第10回亀山市社会福祉大会

亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 平成26年11月26日(水)

場 所 亀山市中央コミュニティホール

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 「地域の絆、みんなの笑顔♪」

講師 ころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏

参加者 215名

4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

(単位：名、回)

	26年度	25年度	増減
登録者数	50	56	△6
延べ運行回数	1,927	1,981	△54

<26年度内訳>

(単位：円、回)

月	会員	料 金		内 容				運行回数
		年会費	運行費	リハビリ	診察	透析	その他	
4	28	28,000	62,000	4	77	101	4	186
5	3	3,000	59,200	2	78	101	0	181
6	4	4,000	54,400	0	74	91	3	168
7	3	3,000	58,200	0	83	90	4	177
8	3	3,000	47,000	0	66	102	3	168
9	3	3,000	59,600	2	78	93	3	176
10	0	0	58,400	0	66	108	5	179
11	1	1,000	37,400	0	56	64	1	121
12	2	2,000	49,000	0	59	89	1	149
1	3	3,000	41,200	0	63	68	2	133
2	0	0	48,800	0	77	70	1	148
3	0	0	44,800	0	59	79	2	141
計	50	50,000	620,000	8	836	1,056	29	1,927

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

(単位：件)

	26年度	25年度	増減
車椅子	262	263	△1
歩行器	2	3	△1

6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び健康づくり関センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

(単位：件)

	26年度	25年度	増減
入れ歯投函数	31	55	△24

7 日本赤十字社との連絡及び協力

①日本赤十字社社資募集

(単位：円)

実施期間	26年度 実績額	25年度 実績額	増減額
5月	5,000,050	5,133,350	△133,300

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

8 福祉団体の事務及び助成

①団体事務局

- 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- 2) 亀山市老人クラブ連合会
- 3) 亀山保護司会
- 4) 亀山更生保護女性会
- 5) 亀山市遺族会

②団体助成

- | | | |
|----------------------|-----------|------------|
| 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会 | (市補助金) | 3,581,078円 |
| 2) 〃 | (共同募金配分金) | 465,000円 |
| 3) 亀山保護司会 | (市補助金) | 315,000円 |
| 4) 亀山市遺族会 | (市補助金) | 740,000円 |
| 5) 亀山市自治会連合会 | (共同募金配分金) | 250,000円 |

9 東日本大震災被災地支援のための募金活動

多くの市民のご協力をいただき、多額のご寄付を共同募金会を通じ被災地へ届けることができました。

(単位：円)

	平成 26 年度末	平成 25 年度末	平成 26 年度 募金額
東日本大震災	14,034,670	13,949,431	85,239

(事業評価・今後の課題)

会務の運営については、26年度は任期満了に伴う理事、監事、評議員の改選があり、理事会を5回、監事会を2回、評議員会を4回開催しました。また、3月に実施した役職員等の先進地視察研修会においては、滋賀県高島市社会福祉協議会を訪れ、組織運営や地域の見守りネットワーク活動等について学ばせていただきました。

基盤の強化として、社協会費については、PR用のちらしを作成、全戸配布を行い、ほぼ前年度並みの額を納めていただくことができました。今後も自治会や福祉委員会等を通じ、市民の皆様にご理解をいただけるようPRを行うとともに、自主財源の確保に努め、活動基盤の整備を図っていきます。

また、27年度から、新たな会計基準に移行し、これまで以上に効果的な法人経営が求められることから、法人の財務状況の透明性を図り、経営状況の分析を行うとともに、改善に向けた取り組みを行い、安定的な財務運営に努めていきます。

11月には、亀山市と共催で第10回社会福祉大会を215名の参加のもと開催し、亀山市の社会福祉の発展に功績のあった民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア等60名1社15団体の方々に感謝の意を表すとともに、記念講演では、こころ元気研究所の鎌田 敏所長より「地域の絆、みんなの笑顔♪」と題してご講演をいただき、参加された福祉関係者の方々に、地域福祉に対する意識の高揚を図りました。

福祉移送サービス事業（市委託事業）については、前年度に比べ、登録者数は若干減少したものの、運行回数はほとんど変動はありませんでした。今後も引き続き、利用者の方々が安心して利用できるようなサービス提供に努めていきます。

26年度はベテラン・中堅の正規職員が3名退職したことに伴い、若手の職員を採用いたしました。地域住民や利用者から信頼される社協職員を目指すべく、人材育成を行うとともに、多様化した福祉ニーズに対応し、継続的に質の高い福祉サービスを提供するため、法人として適切な組織運営を行い、福祉活動計画の基本理念である「ともに支え合い、いきいきと暮らすまち亀山」の実現に向けて、地域のニーズに沿った事業活動を展開し、地域から信頼される社会福祉協議会を目指してまいります。

2 地域福祉事業

1 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の推進 <市補助事業>

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動のコーディネートを行い、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向けて取り組みを行いました。また、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を地域福祉計画推進委員会にて協議いたしました。

① 亀山市地域福祉講演会

地域福祉計画の基本理念の「ともに支え合い、いきいきと暮らすまち亀山」の実現に向けて、地域の皆様と一緒に推進していくため、市と共催で開催しました。

実施日 平成 27 年 3 月 1 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場 所 総合保健福祉センター

講 演 テーマ：「ずっとここで暮らし続けたい」

～人と人とのつながりから広がる安心社会～

講 師：支え合いのしくみづくりアドバイザー

常設型サロン 実家の茶の間・紫竹 代表 河田瑠子

参加者 100 名

② 亀山市地域福祉計画推進委員会

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を行いました。

実施日 平成 26 年 10 月 24 日（金）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ・計画の中間アンケートについて
・計画の進捗状況及び評価について

2 小地域ネットワーク活動事業

① 地区福祉委員会の設置促進及び活動支援 <市補助事業>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 25 地区 338 名の方に委嘱いたしました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行い、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

- ・福祉委員の選出 計 338 名（平成 25 年度 338 名）
- ・小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業
2,470,000 円（@100,000×24 地区、@70,000×1 地区）

<地区コミュニティ別福祉委員活動状況>

（単位：名、地区）

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業（主な事業）	福祉委員会
1	昼生	11	小学生とひとり暮らし高齢者宅訪問、高齢者パソコン教室、ふれあい歌の広場	設置済
2	井田川南	27	ふれあいグラウンドゴルフ大会、ふれあい輪投げ大会、高齢者訪問	設置済
3	井田川北	33	高齢者への花プレゼントサービス（訪問活動）、敬老会	設置済
4	川崎	26	一人暮らし及び高齢者の集い、健康体操	設置済
5	野登	16	子ども見守りパトロール、三世代交流（ぞうり、しめ縄作り等）	設置済
6	白川	10	小学生との一人暮らし訪問活動、高齢者と小学生の交流（白川そば作り）	設置済
7	神辺	14	三世代ふれあい交流（農産物や趣味作品の展示、ステージ発表など）、訪問活動	設置済
8	野村	24	運動会、三世代ふれあい事業（餅つき、昔のあそび等）、高齢者訪問	設置済
9	城東	13	三世代ふれあい事業（野外活動、芸能祭、餅つき大会）、健康講座及び防犯懇談会	未設置
10	城西	9	三世代ふれあい交流食事会、もちつき大会、訪問活動	設置済
11	城北	10	ふれあい交流会（折り紙工作）、敬老会、一人暮らし高齢者訪問	設置済
12	御幸	8	三世代交流会（芸術文化・芸能活動、ゲーム等）、高齢者訪問	設置済
13	本町	10	春のつどい、交流ふれあい広場（演奏、ゲーム等）、いきいきサロン「地域の茶の間」	設置済
14	北東	9	ふれあいもちつき大会、なかよしサロン、一人暮らし高齢者訪問	設置済
15	東部	31	文化演芸大会（ダンス、カラオケ、詩吟、歌謡ショー）訪問活動	設置済
16	天神・和賀	12	ふれあいミニサロン、三世代交流祭、一人暮らし訪問活動	設置済
17	南部	9	ふれあい大運動会、敬老会、高齢者訪問活動	設置済
18	新所	7	見守り訪問活動、三世代ふれあい交流、なかよし広場	設置済
19	関中央	11	見守り訪問活動、ふれあい歌の広場、健康福祉講座、ふれあい交流会	設置済
20	木崎	4	ふれあいサロン、高齢者訪問活動、研修会、災害時見守り表の維持管理	設置済
21	北部	6	高齢者訪問、手作り弁当配食、親子レクリエーション、餅つき大会	設置済
22	関南部	13	高齢者ふれあい交流会、高齢者訪問活動、ふれあいサロン	設置済
23	加太	7	高齢者と保育園児との交流会、敬老会、高齢者配食サービス	設置済
24	坂下	9	ふれあいサロン、全戸訪問活動、ふれあい交流会、配食訪問活動	設置済
25	泉ヶ丘・富士ハイツ	9	地域ふれあい交流会、親子ふれあい交流会、男のやさしい料理教室	設置済
計		338		24

② 福祉委員新任研修会

ワークショップを用いながら、ご近所付き合いの中での「見守り」について考えることによって、福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上が図られました。

実施日 平成 26 年 6 月 23 日（月）、6 月 28 日（土）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演及びワークショップ

テーマ：『ご近所の「見守り」をあらためて考える、ということ』

～福祉委員の役割をイメージしながら～

講師：皇学館大学現代日本社会学部 准教授 板井 正斉

参加者 106 名

③ 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を 2 回開催いたしました。

実施日 平成 27 年 1 月 19 日（月）、1 月 22 日（木）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演：『認知症の正しい理解について』

講師：地域包括支援センター

参加者 69 名

3 ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	26年度	25年度	増減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	18	18	0
2	あゆみの会	福祉施設ボランティア等	13	15	△2
3	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	13		13
4	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	15	15	0
5	オレンジの会	ボランティア教室やイベント等の調理ボランティア	12	13	△1
6	かぼちゃの会	高齢者サロン活動ボランティア	21	21	0
7	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	15	13	2
8	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	8	8	0
9	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	16	16	0
10	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	12	12	0
11	亀山元気の会	施設花壇草木の手入れ等	16	30	△14
12	亀山自助具の会	高齢者、障がい者、福祉施設のボランティア	13	13	0
13	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	14	14	0
14	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	15	16	△1
15	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	13	14	△1
16	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等	9	10	△1
17	車椅子レクダンス普及会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問	28	30	△2
18	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	3	6	△3
19	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	10	8	2
20	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	58	57	1
21	こでまり	高齢者・障がい者・福祉施設ボランティア	10	12	△2
22	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	16		16
23	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	104	118	△14
24	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	28	28	0
25	清和友の会	福祉施設ボランティア、市内イベント協力	8	8	0
26	関点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	7	6	1
27	たすけあいクラブ	生活上の困りごとの支援、保健・福祉の勉強会	16	16	0
28	たんぼぼ	福祉施設ボランティア、こどもボランティア教室等	13	15	△2
29	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	7	9	△2
30	西日本鉄道OB会ボランティア部	福祉活動、奉仕活動全般	13		13
31	バリフタウン推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成	15	15	0
32	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺の環境整備等	8	10	△2
33	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	27	22	5
34	ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	53	39	14
35	ボランティアサークルいちご	亀山老健認知症対応型デイサービスボランティア	7		7

36	三重パソコン要約筆記サークル ことのは 亀山支部	要約筆記などに関するボランティア活動や啓発講座の実施	2	2	0
37	みつくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
38	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	18	19	△1
39	八房流南京玉すだれ はり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの疲労	6	5	1
40	朗読ボランティアしゃくなげの会	「しゃくなげ」等の録音テープ作成	5	6	△1
41	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	15	15	0
	義勇舎(災害支援グループ)	災害支援活動全般		2	△2
	グリーンタウン呼吸嚙下ケアボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する		23	△23
	個人ボランティア	災害支援等	8	15	△7
合計			712	718	△6

② ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備としてボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事保険	送迎保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件数	33	41	0	1	1
人数	1,704	2,377	0	13	50

③ ボランティアコーディネーター

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネーターを行いました。

(単位：件)

	26年度	25年度	増減
相談件数	38	57	△19

④ ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施いたしました。

実施日 平成27年3月12日(木)

場所 総合保健福祉センター

内容 平成27年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 25名

⑤ ボランティア養成講座

ボランティア活動に興味を持つ、潜在的なボランティア活動者がボランティア活動を始め
るきっかけ作りを目的に市中央公民館と共催でボランティア養成講座を実施しました。

(1) 託児 ～子育て応援～

実施日 平成26年6月24日、26日、28日 7月1日、3日（全5回）

場 所 総合保健福祉センター

協力団体 子育て支援「かめのこ」

参加者 13名

(2) 音訳 ～声のボランティア～

実施日 6月～第3火曜日（全8回）

場 所 青少年研修センター

協力者 亀山朗読奉仕会 佐脇ゆずる

参加者 9名

⑥ ボランティア交流会 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体（者）間において意見交換、情報交換を行うことによって、
活動の現状や課題について情報を共有しました。

実施日 平成27年3月12日（木）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ワールドカフェ方式による意見交換会

参加者 15名

⑦ 災害ボランティアセンター

○災害ボランティア意見交換会

平成25年度に研修に参加された方々を中心に今後の災害時ボランティアの在り方を検討し
ていく意見交換会を行いました。

実施日 平成27年2月10日（火）

場 所 総合保健福祉センター

参加者 6名

○市総合防災訓練への参加

市総合防災訓練時において、ボランティア連絡協議会の協力のもと、災害ボランティア
活動についての説明や展示を行いました。

実施日 平成26年10月12日（火）

場 所 関B&G海洋センター

⑧ 災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、全国各地での災害支援として、支援者に対するボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。

⑨ 福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

(単位：団体、円)

	26年度	25年度	増減
団体数	8	6	2
助成金額	744,000	640,000	104,000

⑩ あいあい祭り 2014 ～健康・福祉・医療・地域 であい ふれあい ささえあい～
<福祉ボランティア基金事業、市補助事業>

あいあい祭り実行委員会事務局として、祭りの運営、各種許可申請、会場設営などを担当し、多数のボランティアの協力を得て開催いたしました。

実施日 平成 26 年 10 月 19 日 (日)

場 所 総合保健福祉センター及び医療センター

内 容 ボランティア体験・活動紹介、ボランティア・福祉協力校紹介、模擬店、ステージ発表 など

○実行委員会事務局の運営

1) 準備委員会 平成 26 年 6 月 26 日 (木)

・テーマの選定、実行委員長及び副委員長の選任について

2) 実行委員会

第 1 回 平成 26 年 7 月 30 日 (水)

・あいあい祭り組織図、全体スケジュール等について

第 2 回 平成 26 年 10 月 9 日 (木)

・実施内容の最終確認、事前準備について

第 3 回 平成 26 年 11 月 28 日 (金)

・あいあい祭り 2014 の振り返りについて

3) 代表者会議

平成 26 年 8 月 11 日、9 月 4 日 (全 2 回)

・各部会からの報告及び協議事項、予算について

4) 部会

広報部会 平成 26 年 7 月 30 日、8 月 11 日、9 月 1 日、9 月 11 日 (全 4 回)

・広報スケジュール、チラシの校正等について

- ステージ部会 平成 26 年 7 月 30 日、9 月 1 日（全 2 回）
 ・司会進行、出演依頼、当日のプログラム等について
- 会場部会 平成 26 年 7 月 30 日、8 月 28 日、9 月 17 日（全 3 回）
 ・ゴミの回収、会場レイアウト等について

○催し物の実施

あいあい祭り参加団体として、各種団体等の活動紹介パネルの展示等を行い、福祉への関心を高め、思いやりの輪を広げることを目的に実施いたしました。

- 内 容 ボランティアセンター登録団体パネル展示
 福祉協力校パネル展示
 ふれあい・いきいきサロンパネル展示
 共同募金イベント募金

4 福祉教育推進事業

① 福祉協力校事業 <福祉ボランティア基金事業>

学校内における福祉教育について、車椅子の貸出、ボランティア紹介、助成事業などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施いたしました。

- ・助成事業 計 800,000 円 (@50,000×16 校)

(単位：校)

小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎、神辺、昼生、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山、徳風

② 夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの 8 月 18 日（月）～22 日（金）【5 日間】市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

(単位：名 ※延べ人数)

施設名	参加者	施設名	参加者	施設名	参加者
安全の里	7	愛の里【新規】	6	亀山デイサービスセンター	4
亀寿苑	12	宝寿の郷	7	はなの家	8
野村きぼう苑	1	わだのさと	1	花しょうぶ関センター	7
亀山老人保健施設	9	グループホーム亀山	15	亀寿苑関デイアアップセンター	15
花しょうぶ苑	10	うさぎ亀山	18	合 計	138
つくしの家	9	グループホーム白鳥	9		

5 ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン事業

①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン助成事業 <共同募金配分金事業>

高齢者や障がい者、子育て中の親子を対象とした、地域住民やボランティアが主体となつて、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		26年度 箇所数	25年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	43	40	3	860,000	12,925
	新規	2	6	△4	60,000	
	計	45	46	△1	920,000	
子育て	既存	8	9	△1	160,000	3,222
	新規	1	0	1	30,000	
	計	9	9	0	190,000	
合計		54	55	△1	1,110,000	16,147

②ふれあい・いきいきサロン交流会 <共同募金配分金事業>

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めるとともに、認知症についての正しい理解を深め、サロン活動の充実を図ることを目的に開催いたしました。

実施日 平成 27 年 3 月 10 日 (火)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演「認知症サポーター養成講座」

講師 亀山地域包括支援センター

参加者 37 団体 58 名

③子育てサロン交流会 <共同募金配分金事業>

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について、意見交換を行うとともに相互の交流を深めました。

実施日 平成 27 年 3 月 5 日 (木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ワールドカフェ方式による意見交換会

参加者 6 団体 15 名 (うち主任児童委員 6 名)

6 広報啓発事業

①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第38号 平成26年 7月1日「在宅福祉サービス部門の事務所移転のお知らせ」等

第39号 平成26年 10月1日「ふくし最前線 特集：子育てサロンママクッキング」等

第40号 平成27年 1月1日「ふくし最前線 特集：高橋久子さん」等

第41号 平成27年 4月1日「東日本大震災～続けよう！東北支援～」等

②ホームページの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

	26年度	25年度	増減
お知らせ・新着情報 更新回数	49	35	14

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

7 総合相談事業 <市補助事業>

①元公証人による法律相談及び心配ごと相談

市の法律相談と連携するとともに、相続、遺言、金銭貸借、離婚等の法律に関することに対して公証人経験者による適切な助言、指導を行う法律相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	26年度	25年度	増減
開設日数	24	23	1
元公証人による法律相談相談件数	113	82	31
心配ごと相談相談件数	16	12	4

②心配ごと相談員研修会

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得や関係機関との連絡、連携が不可欠になってきています。今後の心配ごと相談所活動の充実を図ることを目的に視察研修を実施しました。

実施日 平成26年12月15日（月）

視察先 こころの健康センター

参加者 相談員8名

8 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業） <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

基幹の社協として三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

○相談件数 (単位：件)

	26年度	25年度	増減
認知症高齢者	269	162	107
知的障がい者	470	364	106
精神障がい者	197	126	71
その他	12	12	0
計	948	664	284

○契約者数 (単位：件)

	26年度	25年度	増減
認知症高齢者	12	11	1
知的障がい者	16	14	2
精神障がい者	7	5	2
その他	1	1	0
計	36	31	5

○生活支援員関係 (単位：名、回)

	26年度	25年度	増減
生活支援員	13	13	0
派遣回数	751	625	126

○生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施いたしました。

実施日 平成 27 年 1 月 14 日 (水)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 「障がい者の支援について～知的障がい者への理解～」

講 師 障害者総合相談支援センターあい 相談員 亀井 有美、西村 友子

参加者 10 名

9 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

各種会議への参加	三重県居住支援連絡会議	2回
	〃	作業部会 8回
	住宅相談会	1回

10 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

(単位：件)

	26年度	25年度	増減
相談件数	186	152	34
貸付件数	17	19	△2
長期滞納者の面談	0	0	0

貸付残高件数（平成27年3月31日現在）

(単位：件)

	26年度	25年度	増減
総合支援資金（生活支援費）	34	34	0
緊急小口資金	42	41	1
臨時特例つなぎ資金	3	3	0
福祉資金（その他）	13	9	4
合計	92	87	5

②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		26 年度	25 年度	増減
貸付	件 数	8	5	3
	金 額	240,000	115,000	125,000
償還	件 数	36	25	11
	金 額	335,000	160,000	175,000

貸付残高件数 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(単位：件)

	26 年度	25 年度	増減
福祉金庫	17	20	△3

11 各種福祉事業

① 高齢者支援

○あいあい笑顔のつどい <共同募金配分金事業>

市内ひとり暮らし高齢者 (75 歳以上) を対象に、亀山高等学校総合生活科生徒、ボランティア、第三愛護園児、みなみ保育園児などの協力による歌や演奏、健康相談及び温泉入浴などを実施し、計 196 名に参加していただきました。

	A 地区	B 地区
実施日	平成 26 年 11 月 25 日 (火)	平成 26 年 12 月 9 日 (火)
対 象	75 歳以上のひとり暮らし高齢者 880 名	
場 所	総合保健福祉センター2 階教養娯楽室	
参加者	94 名	102 名

※A地区 城東、御幸、城北、本町、北東、東部、川崎、井田川北、井田川南

B地区 城西、野村、天神・和賀、南部、昼生、白川、神辺、野登、新所、関中央、木崎、北部、関南部、加太、坂下、泉ヶ丘・富士ハイツ

○高齢者軽度生活援助事業 <市受託事業>

在宅のひとり暮らし高齢者などが、軽度生活援助員から軽易な日常生活上の援助を受けることにより、要介護状態への進行を防止することを目的に事業を実施いたしましたが、利用実績はありませんでした。

○団体助成

- | | | |
|--------------------|-----------|-----------|
| 1) 老人福祉フェスティバル事業 | (市補助金) | 220,000 円 |
| 2) 交通費助成 | (市補助金) | 388,800 円 |
| (老人福祉フェスティバル貸切バス代) | | |
| 3) 亀山市老人クラブ連合会 | (共同募金配分金) | 430,000 円 |

○安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

市内在住の 75 歳以上ひとり暮らし高齢者の世帯に対し、地区福祉委員会による見守り訪問活動を行い、災害用非常食を配布しました。

実施地区 25 地区

実施期間 平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月

(単位：件)

	26 年度	25 年度	増減
配布数	858	838	20

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 0 件 ※該当者なし

② 障がい児（者）支援

○障がい児社会見学 <共同募金配分金事業>

市内在住の障がい児を対象に、見聞を広め相互の親睦を図ることを目的に社会見学事業を実施いたしました。

実施日 平成 26 年 7 月 5 日（土）

行 先 まるふく常滑焼（絵付け体験）、トヨタ産業技術記念館

参加者 31 世帯 91 名

○団体助成

- | | | |
|------------------|-----------|-----------|
| 1) 亀山市身体障害者福祉協会 | (市補助金) | 940,600 円 |
| " | (共同募金配分金) | 200,000 円 |
| 2) 亀山市特別支援教育振興会 | (共同募金配分金) | 130,000 円 |
| 3) かめやま障害児者を支える会 | (共同募金配分金) | 80,000 円 |
| 4) みっくすどろっぷす | (共同募金配分金) | 150,000 円 |

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

特別児童扶養手当受給者	80 件	240,000 円
障害児福祉手当受給者	5 件	15,000 円
特別障害者手当受給者	20 件	60,000 円
福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	106 件	318,000 円

③ 子育て支援

○子育て応援！はじめての親子りょうり教室 <共同募金配分金事業>

子育てサロン「ママクッキング」と共催で、2歳児から就学前の幼児とその保護者を対象に料理教室を行い、料理を通して親子の絆を深めると同時に、子育て中の親子の交流と子育てサロンへの参加の促進を図りました。

実施日 平成27年2月14日(土)

場 所 総合保健福祉センター

参加者 31名

○入学祝金 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭新入学児童生徒への祝金 1名 3,000円

○修学旅行補助 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭小中学校修学旅行補助 0名 ※該当者なし

○団体助成

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1) 亀山市子ども会育成者連絡協議会 (共同募金配分金) | 60,000円 |
| 2) 亀山市母子寡婦福祉会 (市補助金) | 528,000円 |
| 〃 (共同募金配分金) | 150,000円 |

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

準援護家庭	261件	783,000円	
施設入所児童	0件	0円	※該当者なし
合計	261件	783,000円	

③ 低所得者支援

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

生活保護世帯 140件 324,000円

12 共同募金会との連絡及び協力

① 赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	26年度 実績額	達成率	25年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	6,697,500	6,139,930	91.7	6,380,149	△240,219	96.2

② 歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	26年度 実績額	達成率	25年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	2,000,000	1,901,668	95.1	1,792,925	108,743	106.1

③ 亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回 平成26年6月19日(木) 出席者7名

議 題

- 1) 会長及び副会長の選任について
- 2) 平成25年度事業報告及び一般会計収支決算について
- 3) 平成26年度(平成27年度充当)一般募金配分申請について
- 4) 平成26年度歳末たすけあい募金配分申請について

第2回 平成27年3月23日(月) 出席者6名

議 題

- 1) 運営委員の辞任に伴う後任の選任について
- 2) 審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- 3) 平成27年度事業計画並びに一般会計予算について

(事業評価・今後の課題)

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向け、地域福祉計画推進委員会で進捗管理や評価等について協議するとともに、地域住民を対象に地域福祉講演会を開催し、啓発と実践を行いながら福祉意識の醸成に努めて参りました。また、小地域ネットワーク活動事業では、各地区に地域福祉の推進役として福祉委員を設置していただき、見守り・訪問活動等をおこなっています。今後は、地域での助け合い・支え合い活動づくりを更に活性化していただきやすくするため、福祉課題を発見し、関係機関につなげていく仕組みづくりを検討していく場として福祉委員会のブロック別研修を開催してまいります。

ふれあい・いきいきサロンについて、新規で2ヶ所増加し、45か所でサロン活動を展開していただいています。今後も地域の実情に応じた居場所づくりの推進のため福祉活動を支援します。

ボランティア事業については、ニーズに応じたボランティア依頼のマッチングを行うとともに、今年度より中央公民館と共催でボランティア講座を開催しました。

福祉教育推進事業において、毎年開催している中学生福祉体験教室を実施し、市内福祉施設のご協力により、充実した福祉体験の場を提供することができました。また、市内の学校に様々な体験やボランティア活動を通じて、福祉に対する関心を高めることを目的に福祉協力校事業を実施しています。27年度はモデル校を指定し、福祉教育の更なる充実と、次世代の担い手の育成に取り組んでまいります。

個別の相談支援事業として、低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加している中、今後も引き続き日常生活自立支援事業や貸付事業、また27年度より市から受託する生活困窮者自立支援事業など総合保健福祉センターの機能を活かし行政をはじめとする関係機関と連携を密にしながら、包括的かつ柔軟に対応し、利用者に寄り添いながら専門職として質の高い支援ができるように努めます。

共同募金事業については、運営委員、自治会、民生委員児童委員等のご協力のもと戸別募金や法人募金、また中学校や高校と連携して街頭募金やイベント募金など広く募金活動を実施しました。多種多様な募金を実施されているなか、全国的には赤い羽根共同募金の実績額は年々減少していますが、前年度並みの実績額が確保されました。今後も民間の地域福祉事業推進のための募金という趣旨に基づき、住民の理解を十分に得ながら募金活動を行うとともに、寄せられた共同募金をより有効に活用するため、地域の方々や福祉関係者と一緒に考えながら事業を展開していきます。

3 在宅福祉サービス事業（在宅福祉係）

1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（平成 27 年 3 月 31 日現在）

・常勤訪問介護員 4 名 <前年度 4 名> ・登録訪問介護員 15 名 <前年度 16 名>

①介護保険制度

○訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護・要支援と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		26 年度	25 年度	増減
利用延べ人数		768	795	△27
派遣延べ回数		9,852	9,996	△144
事業収入		30,608,081	30,966,380	△358,299
派遣時間数		7147.5	7,464	△316.5
内 訳	介護（身体介護・生活援助）	5,504	5,890	△386
	介護予防	1643.5	1,574	69.5

②障害者総合支援制度

○居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		26 年度	25 年度	増減
利用延べ人数		346	406	△60
派遣延べ回数		3,602	4,315	△713
事業収入		9,772,303	12,471,793	△2,699,490
派遣時間数		2,656	3,517	△861

○同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に、外出するための移動支援を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		26 年度	25 年度	増減
利用延べ人数		2	8	△6
派遣延べ回数		3	8	△5
事業収入		31,392	74,186	△42,794
派遣時間数		10.5	25	△14.5

③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	26年度	25年度	増減
利用延べ人数	12	13	△1
派遣延べ回数	310	332	△22
事業収入	787,400	847,000	△59,600
派遣時間数	155	170	△15

2 居宅介護支援事業

【介護支援専門員（ケアマネジャー）数】（平成27年3月31日現在）

・介護支援専門員 6名 <前年度7名>

①介護給付費 <介護保険制度>

要介護（1～5）・要支援（1,2）と認定された利用者や家族等の意見をふまえたケアプランを作成し、居宅サービス計画に基づき在宅サービス事業者との連絡調整を行いました。

(単位：件、円)

月	介護給付		予防給付	
	件数	金額	件数	金額
4	117	1,760,001	17	71,842
5	119	1,797,359	15	63,390
6	121	1,813,296	15	66,453
7	122	1,831,224	15	63,390
8	123	1,852,736	16	70,679
9	119	1,783,605	16	70,679
10	119	1,794,274	15	63,390
11	118	1,765,625	16	70,679
12	117	1,758,457	16	67,616
1	112	1,682,638	17	74,905
2	111	1,648,293	16	67,616
3	110	1,649,814	16	70,679
住宅改修	1	2,000		
合計	1,409	21,139,322	190	821,318
月平均	117	1,761,610	16	68,443
25年度	1,396	20,934,915	202	867,990
増減	13	204,407	△12	△46,672

※住宅改修とは住宅改修理由書作成手数料

②受託金収入

鈴鹿亀山地区広域連合及び他市町村より要介護認定調査の委託を受け、対象者の住居を訪問し、心身の状態について面接調査を行いました。

(単位：件、円)

月	認 定 調 査	
	件 数	金 額
4	21	113,400
5	24	129,600
6	21	113,400
7	25	135,000
8	26	140,400
9	29	156,600
10	26	140,400
11	18	97,200
12	24	129,600
1	22	118,800
2	23	124,200
3	29	156,600
合 計	288	1,555,200
月平均	24	129,600
25年度	241	1,264,200
増 減	47	291,000

(事業評価・今後の課題)

在宅福祉サービス部門として、ホームヘルパー（訪問介護）及びケアマネージャー（居宅介護支援）の事業所を運営しています。平成 26 年 7 月に両事業所の事務所が市総合保健福祉センターから市社会福祉センターへ移転しました。

訪問介護事業につきましては、介護保険制度における訪問介護事業所、予防訪問介護事業所、障害者総合支援制度における障害者居宅介護事業所、障害者同行援護事業所を運営しており、平成 26 年度は常勤ヘルパー4 名、登録ヘルパー15 名が食事、排泄、入浴、調理、洗濯、移動支援など生活全般にわたる援助を行いました。

運営面において前年度と比較すると訪問介護事業は、入所施設の充実等により毎日複数回利用するケースが減少している傾向にあることや、常勤職員の退職等の要因により新規件数の増加が少なかったため、訪問介護の事業収入が減少しました。障害者居宅介護事業についても、利用者の高齢化により介護保険制度に移行されたケースが生じたことや上記の人的要因によって新規件数の増加が少なかったこと、毎日複数回型の利用者の減少等の理由によって、事業収入が減少いたしました。しかしながら、障害者居宅介護事業所は、市内に 3 施設しかありませんので、今後も利用者のニーズに合わせたサービスを提供していく必要があります。

居宅介護支援事業につきましては、6 名の介護支援専門員（ケアマネージャー6 名のうち 5 名は常勤、1 名は兼務）が介護保険制度において、要支援、要介護認定を受けた方の心身の状態や希望に応じてサービス利用計画（ケアプラン）を作成し、医療・関係機関や介護サービス事業者との連絡調整を行っています。運営面については、利用件数が年度前半に増加したことにより、事業収入は前年度に比べ若干増加しましたが、収益の改善は見られませんでした。

訪問介護事業所及び居宅介護支援事業所の両事業所について、将来にわたって安定した運営を行っていくため、中長期的な視点に立ち財政面の整備を図っていく必要がありますが、27 年度は経営状況の分析を行い、課題を発見し、改善に向けて取り組んでいきます。

また、利用者の要望や満足度を知るために情報収集を行うとともに、研修やミーティングの充実を図り、職員の資質向上に取り組み、利用者から信頼され選ばれる事業所を目指します。

4 在宅福祉サービス事業（障がい福祉係）

【指定障害福祉サービス多機能型事業所「つくしの家」】

1 生活介護事業

利用者やその家族が希望する生活を大切に、個別支援計画に基づき介護や行事、創作的活動、交流活動、余暇活動等を行いました。また軽作業等の生産活動も行いました。

①職員配置

（単位：名）

職名		つくしの家	なかまの部屋	
管理者・サービス管理責任者（兼務）			1	
看護師			1	
生活支援員	常勤	正規	0	1
		嘱託	0	1
		非常勤	4	3
	非常勤（登録）	1	1	

②利用実績

1) つくしの家（主たる事業所：定員 15 名）

（単位：名、日、円）

	26 年度	25 年度	増減
利用者数	16	16	0
延べ利用日数	3,389	3,368	21
事業収入	24,352,224	23,763,964	588,260

2) なかまの部屋（従たる事業所：定員 10 名）

（単位：名、日、円）

	26 年度	25 年度	増減
利用者数	9	6	3
延べ利用日数	1,634	1,183	451
事業収入	13,406,578	9,511,311	3,895,267

③創作的活動（年間行事）

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

1) つくしの家（主たる事業所）

実施月日	行事名	場所
4月 3日	季節の行事（花見）	亀山公園
5月 1日	季節の行事（藤見学）	太巖寺
6月 6日	季節の行事（菖蒲園散策）	亀山菖蒲園
7月 17日 8月 28日	季節の行事（プール）	B&G海洋センター
8月 26日	あいあい入浴日	白鳥の湯
9月 3日	季節の行事（流しそうめん）	つくしの家
9月 10日	季節の行事（ミニ運動会）	社会福祉センター3階
10月 29日	季節の行事（ハロウィン）	つくしの家
11月 7日	ショッピング	鈴鹿イオン
11月 28日	社会見学旅行	長浜市黒壁スクエア
12月 24日	忘年会	つくしの家
1月 5日	季節の行事（新年会）	つくしの家
1月 16日	利用者健康診断	つくしの家
2月 3日	季節の行事（節分）	つくしの家
2月 12日	ボーリング大会	鈴鹿サーキット
3月 10日	あいあい入浴日	白鳥の湯
週 1回看護師によるバイタルチェック（検温、体重測定、血圧測定、健康相談等）		
月 1回～3回 音楽クラブ、 絵画クラブ、 パソコンクラブ 、手芸		
月 1回 外食または喫茶の日（ガスト、コビアン他）		
年 5回 調理の日 年 5回 避難訓練（内 2回は全館避難訓練）		
余暇活動（ウォーキング等の軽運動、カラオケ、物づくり、生け花等）		

2) なかまの部屋（従たる事業所）

実施月日	行事名	場所
4月 4日	季節の行事（花見）	観音山芝生公園
6月 11日	季節の行事（花菖蒲散策）	亀山菖蒲園
6月 13日	じゃがいもパーティー	なかまの部屋
6月 27日	外食の日	ウーノポーノ
7月 18日	三重県総合博物館見学	三重県総合博物館
8月 29日	季節の行事（流しそうめん）	なかまの部屋
9月 5日	外食の日	ウーノポーノ
9月 19日	季節の行事（バーベキュー）	名阪森林パーク
10月 24日	季節の行事（ハイキング）	観音山芝生公園

2) なかまの部屋 (従たる事業所)

実施月日	行事名	場所
5月17日	関地区民生委員との交流会 (ボーリング大会)	アピナ鈴鹿
6月2日	中学校職場体験受入(5日間)	なかまの部屋
7月11日	関地区民生委員との交流会(七夕茶会)	なかまの部屋
8月8日	学童保育所との交流会(合同避難訓練)	学童保育所
10月16日	亀山市障害者協会主催スポーツ大会参加	あいあい芝生広場
11月20日	保護者との交流会(秋を楽しむ会)	なかまの部屋
12月19日	関地区民生委員との交流会(クリスマス会)	健康づくり関センター
12月25日	学童保育所との交流会(焼き芋会)	学童保育所園庭
2月27日	関地区民生委員との交流会(感謝の会)	なかまの部屋

⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあつた軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

1) つくしの家 (主たる事業所) (単位:円)

種類	作業内容	事業収入	
		26年度	25年度
受託作業	・ろうそく箱詰め ・葬儀用造花作り ・電子部品等組み立て	451,023	688,399

2) なかまの部屋 (従たる事業所) (単位:円)

種類	作業内容	事業収入	
		26年度	25年度
受託作業	・ろうそく箱詰め ・100円ショップ等の商品	272,673	271,559

2 就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生産活動をとおして知識及び能力の向上を目指し、社会の一員としての自覚と意欲につながる支援を行いました。

①職員配置 (単位：名)

			つくしの家
管理者・サービス管理責任者（兼務）			1
職業指導員	常勤	正規	1
生活支援員	常勤	非常勤	1
	非常勤（登録）		1

②利用実績 (単位：名、日、円)

	26年度	25年度	増減
利用者数	6	6	0
延べ利用日数	1,442	1,664	△222
事業収入	8,081,934	9,168,988	△1,087,054

③生産活動 (単位：円)

種類	作業内容	事業収入	
		26年度	25年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子部品等組み立て ・ 葬儀用造花作り ・ ローソク等箱詰め ・ 書類封入作業 ・ 草刈り作業 ・ ゴムのバリ取り・検品 ・ 100円ショップ商品等の組み立て・パッケージング ・ シールはがし（リサイクル） 	633,398	746,970
自主製品	手作り小物等	59,500	80,200
合計		692,898	827,170

④創作的活動（年間行事）

様々な行事を通して、自発的な活動への参加や地域で暮らしていくマナーやルールを知る機会を提供するとともに仲間づくりができるよう支援しました。

実施月日	行事名	場所
5月 1日	藤見学	太厳寺
7月 17日 8月 28日	季節の行事（プール）	B & G海洋センター
8月 26日	あいあい入浴日	白鳥の湯
9月 3日	季節の行事（流しそうめん）	つくしの家
9月 10日	季節の行事（ミニ運動会）	社会福祉センター3階
11月 7日	ショッピング	鈴鹿イオン
11月 28日	社会見学旅行	長浜市黒壁スクエア
12月 24日	忘年会	つくしの家
12月 28日	大掃除	つくしの家
1月 16日	利用者健康診断	つくしの家
2月 12日	ボーリング大会	鈴鹿サーキット
2月 7日	保護者との交流会	つくしの家
3月 10日	あいあい入浴日	白鳥の湯
週 1回 看護師によるバイタルチェック（検温、体重測定、血圧測定、健康相談等）		
月 1回 音楽クラブ、 絵画クラブ、 パソコンクラブ		
月 1回 課外活動 外食または喫茶（ガスト、コビアン他）		
年 5回 調理の日		
年 5回 避難訓練（内 2回は全館避難訓練）		

⑤地域交流

地域の小、中学生やボランティアなどと交流をし、障がい者への理解を深めてもらえるよう広報啓発に努めました。

実施月日	行事名	場所
6月 11日	白川小 6年生体験学習	つくしの家
6月 18日	白川小 5年生体験学習	つくしの家
6月 4日	中学校職場体験受入（4日間）	つくしの家
8月 1日	中学生福祉体験教室（2日間）	つくしの家
9月 27日	三重大生とディキャンプ	つくしの家
10月 3日	身体障害者協会主催スポーツ大会参加	あいあい芝生広場
10月 7日	白川小との交流会	つくしの家
11月 21日	白川小商店街集会	白川小学校
2月 5日	亀山市展 出展（5日間）	中央コミュニティセンター
2月 19日	三重大生との交流会	三重大学

3月 4日	感謝の集い	つくしの家
3月 20日	白川小卒業式出席	白川小学校
月 1回	三重大生によるレクリエーション	

3 実習生の受入

特別支援学校高等部に通学している生徒が卒業後の進路を考慮し体験できるよう現場実習を受け入れました。

(単位：名)

学校名	学年	人数	実習期間	実習場所
聖母の家特別支援学校	高3	1	6月16日～6月20日	なかまの部屋
城山特別支援学校	高2	1	9月22日～9月26日	なかまの部屋
杉の子特別支援学校 石薬師分校	高2	1	10月20日～10月31日	つくしの家 (生活介護)
聖母の家学園	高3	1	11月4日～11月7日	なかまの部屋
聖母の家学園	高3	1	1月13日～1月23日	なかまの部屋
杉の子特別支援学校 石薬師分校	高1	1	2月2日～2月6日	つくしの家 (就労継続支援B型)
	高2	1		つくしの家 (生活介護)
	高1	1		なかまの部屋
城山特別支援学校	高2	1	2月16日～2月20日	つくしの家 (生活介護)
延べ受入人数		9		

4 社会福祉センターの運営 〈市補助事業〉

【年間利用状況 〈3階集会室〉】

(単位：件、名)

	26年度	25年度	増減
利用件数	325	277	48
利用人数	6,949	7,280	△331

【工事及び修繕の執行状況】

工事名	契約年月日	完成年月日
電話設備機器設置・回線工事	平成26年 4月 23日	平成26年 6月 19日
集会室音響設備取替修繕	平成26年 6月 3日	平成26年 6月 12日
外壁改修工事	平成26年 11月 1日	平成27年 1月 30日
その他 17か所修繕		

(事業評価・今後の課題)

「つくしの家」「なかまの部屋」では、利用者や家族のニーズに応じた個別支援計画に基づき利用者の個性を生かした日中活動の場を提供してきました。

生活介護事業は生活支援や身体介助を中心に、余暇活動の充実を図り、きめ細やかな生活支援を行ってきました。利用者の中には不安定行動をとり対応が難しい方もみえますが、本人及び他の利用者の事故等の防止に配慮し、安定した生活が送れるよう引き続き支援していきます。また利用者一人ひとりに合わせた視覚的支援や物の配置をわかりやすくする等の環境づくりや配慮を行い、自発的に行動できるような支援を心がけていきます。

運営面では、生活介護事業としては計画相談支援を活用して他事業所の福祉サービスを併用する方が増加しておりますが、特別支援学校の職場実習を積極的に受け入れることにより、新規利用者が増え、安定した事業運営ができています。

就労継続支援 B 型事業は受託作業等とおし、就労に向けた作業能力や知識の向上、仕事をする上でのルールやマナーの支援を行いました。就労を望んでみえる方には情報を提供するとともに、今後も関係機関と連携し、個々の能力に合わせた作業能力向上や就労支援体制の充実に努めていきます。

運営面では、家庭の事情や他事業所への移行により、利用率が低下し、事業収入が減少しました。24 年度に事業所へ移行してからも新規の利用者は少なく、市内に複数の就労継続支援 B 型事業所もあることから、利用者のニーズや地域の他事業所の状況を把握し、今後の事業運営について検討していく必要があると考えております。

今後も利用者に対して質の高いサービスを提供できるよう全職員に外部研修を積極的に受講させるとともに、事業所内で介護技術の講習やケース会議などで情報の共有を図り職員の資質向上に取り組んでいきます。

社会福祉センターの管理運営につきましては、3 階の集会室を福祉関係団体をはじめ、市民による会議、レクリエーション、カラオケなどに活用していただいております。施設利用者の利便性、安全性に配慮すると共に建物の長寿命化に向けて 26 年度は外壁改修工事や 3 階集会室音響設備取替等を行いました。27 年度はトイレ改修や集会室照明設備改修工事を行う予定をしております。これからも計画的に施設整備を行い、誰もが安心して利用できる施設運営に努めていきます。

5 その他

①関係機関への協力、参加

(単位：回)

委員会名	実施主体	回数/年	担当
市民活動応援制度審査検証委員会	市民文化部 共生社会推進室	2	藤本
地域福祉計画推進委員会	健康福祉部 地域福祉室	1	古川
子育て支援検討委員会	健康福祉部 子ども家庭室	1	鍬田
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 高齢障がい支援室	3	加藤 鍬田
亀山市地域自立支援協議会 (ワーキング委員)	健康福祉部 高齢障がい支援室	3	加藤 林
高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 高齢障がい支援室	1	古川
高齢者福祉推進協議会	健康福祉部 高齢障がい支援室	2	古川
高齢者福祉計画策定調整会議	健康福祉部 高齢障がい支援室	1	鍬田
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	18	若山
介護保険事業計画策定委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	5	古川
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	2	出口

②実習生の受入

(単位：名)

学校名	人数	実習期間	実習内容
鈴鹿医療科学大学	1	8月6日～9月8日	相談援助実習
皇学館大学	1	8月6日～9月8日	相談援助実習
合計	2		